

令和3年度（2021年度）学校版環境ISOへの取組

< 八代市立八代小学校 >

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>宣言の掲示</p> <p>児童の実態を踏まえ、環境委員会を中心に話し合い、宣言項目を考えた。「節水・節電・物を大切に・きれいな学校」の4つの観点で宣言を作り、Zoomによる「白鳥っ子集会（児童集会）」で全校児童に宣言項目の具体的な取り組み方を知らせ、全校で取り組んでいく意識を高めた。また、各教室や手洗い場などに宣言文を掲示し、意識付けを行った。</p>
行動		<p>節水の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除のときは、バケツを使うこと、習字の筆洗いは、ペットボトルの水で洗うこと、歯磨きの時は、コップ一杯の水ですすぐことなど、前年までの取組が習慣化し、各学級で工夫して節水に努めることができた。 ・感染症予防のための手洗いの回数が増えたことで、今年度は「水を止めて手洗いをする」とを、新たなめあてに加えて取り組んだ。水を使う際の目安として、環境委員会の児童が「鉛筆の太さで水を出すこと」を提案し、写真を学級の水道前に掲示した。水を出すときの目安として分かりやすく、節水の意識を高めることができた。 <p>節電の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級で、電気係を設け、移動教室の時などには消灯するよう、児童が意識をもって取り組んだ。 ・環境委員会で、節電を呼びかけるキャラクターを募集し、応募してくれた作品をポスターにしたり、電気スイッチに貼ったりした。自分たちの考えたキャラクターが、教室や廊下、トイレの電気スイッチに貼ってあることで、節電の意識をもつことができた。 ・みどり委員会が中心となって、花の苗植えや世話等の活動に取り組み、校舎西側にグリーンカーテンを作った。日陰を作ることで、節電効果があった。 ・各教室のエアコン使用を職員室で把握し、児童の下校後は、一斉に停止するなど、職員の節電目標に取り組んだ。



大そうじ 週間	
環境委員会	
20月	まど ぬらしてしぼった新聞紙で、しつかりみがき ましょう。シールもみがきましょう。
21火	ロッカー ロッカーの扉の膜を剥けましょう。 ロッカーのゴミをふきましょう。
22水	つくえ 自分の机の中、周りを片付けましょう。
23木	ゆか 廊下や、教室の床をびがびかにしましょう。 テレビやたなを動かして、すみずみまで きれいにならしましょう。 気分よく 全校みを片付けましょう。



物を大切にする取組



- ・環境ISOチェック週間に、持ち物の記名状況を各学級で調べ、記名を呼びかけ、学級内での落とし物0を目指した。
- ・学期末には、落とし物として届けられた物を、児童用昇降口に並べ、持ち主に返るように努めた。
- ・職員室や印刷室に、「リサイクル用紙置き場」を設け、印刷時の裏面使用の徹底を図った。

きれいな学校をめざした取組

- ・毎週水曜日の朝、環境委員会で校庭のごみ拾いや草取り、落ち葉集めに取り組んだ。この活動を「環境ボランティア」として全校に放送で呼びかけたところ、毎週、たくさんの児童が参加し、活動が定着しつつある。参加した児童を写真で撮り、校内に掲示することで、参加の意欲を高めることができた。
- ・環境委員会の児童の提案で、「幸せクリーンボックス」を設置した。廊下に落ちているごみを拾って箱に入れ、入れた人は、シールを貼ることができる。シールで絵が完成するようになったところ、楽しんで取り組んでいる様子が見られた。
- ・学期末には、全校で「大そうじ週間」に取り組んだ。集中して掃除するところを曜日ごとに決め、放送で知らせた。全校で、窓ふきの日、ロッカー掃除の日、と統一して掃除をし、校内美化の意識付けができた。
- ・ペットボトルキャップ集めに取り組んだ。給食時に放送で呼びかけ、毎週、環境委員会が教室を回って回収した。集めたキャップは、海外の子供たちの予防接種ワクチン購入のために使われるよう、提携企業に届けている。
- ・夏季休業中には、職員作業を計画的に実施し、教材庫や準備室などの不必要なものを分別処分し、環境美化に努めた。

環境学習

- ・4年生は、社会科の時間に、家庭ごみの行方や水の問題を考え、環境を守ることの大切さやそのための工夫を学んだ。
- ・5年生は、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」に参加し、それぞれの学びを新聞にまとめた。また、八代市の環境問題を調べたり、学んだことを自分たちの暮らしに取り入れたりし、学びを深めた。

		<ul style="list-style-type: none"> ・6年生は、国語の時間に、自分の考える環境問題とその解決への取組を調べプレゼン形式で発表した。その中から出たアイデア（鉛筆の太さで水を出す呼びかけ、節電キャラクター募集）を今年度の取組に取り入れ、実践することができた。
記録		<p>児童による記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月末、環境 I S Oチェック週間を設けて、学級ごとに自分たちの取組を評価した。◎○△でチェックしたものを、環境委員会の児童が得点化し、よくできたクラスを校内放送で発表した。毎月の取組の結果をもとに、次の月の委員会の目標や活動を話し合い、よりよい活動へとつなげていくことができた。年度末には、各クラスの記録を掲示し、学級ごとに、今年度の取組の振り返りをしたい。 <p>職員による記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の水道使用量、電気使用量をグラフ化し、昨年度の比較ができるようにデータを掲示し、今年度の取組を評価し、次年度に生かす。
見直し	<p>節水の取組について</p> <p>水道使用量の数値は、昨年と比べて3.5%の減少となり、-2%の目標を達成できた。環境委員会の児童が「節水週間」の計画を立てたが、今年度は実践できなかった。次年度は、水道使用が多かった月（7月）に、期間を決めて取り組んでいきたい。</p> <p>節電の取組について</p> <p>節電キャラクターを考えるなど、児童のアイデアを取り入れて楽しく取り組むことができた。しかし、トイレの電気が付いたままになっているなど、まだ十分な意識付けができていない。節電の必要性を訴えるような取組を考えたい。</p> <p>物を大切に取る取組について</p> <p>記名のない落とし物がたくさんあり、「落とし物0」は、なかなか徹底できなかった。持ち物記名を家庭に呼びかけるなど、子供たちが意識できる活動を計画する必要がある。</p> <p>きれいな学校をめざした取組について</p> <p>「環境ボランティア」や「幸せクリーンボックス」といった、児童のアイデアを生かした取組が実践でき、全校で取り組むことができた。環境委員会の取組が全校児童に広がり、きれいな学校をめざす意識を共有することができた。続けるうちに、活動がマンネリ化してきたところもあり、継続のための工夫をしていく必要がある。</p>	

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>【児童の取組について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会の児童が中心となって話し合い、様々な活動を行うことができた。自分たちで課題を改善していこうとする自主的な活動ができた。 ・高学年を中心に、環境学習の中で調べたり考えたりした児童のアイデアを具体的に実践していくことができた。 ・全校児童に、環境キャラクターを募集したり、環境ボランティア活動を呼びかけたりし、全校児童の活動へと広げることができた。(環境ボランティア活動には、毎週100名近い児童が参加した) ・毎月ISOチェック表を活用し、各学級の取組状況を振り返り、改善するきっかけとなった。 <p>【職員の取組について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷ミスした紙をリサイクル紙として分別し、職員用の文書には、裏紙を使用したり、両面印刷したりする意識が定着している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道使用量は、昨年度より3.5%減少したが、電気使用量は、夏期のエアコン使用により、増えた。節水、節電に対する意識は出てきているものの、目に見えない変化のため、取組の意識付けが難しかった。分かりやすい目標設定をして、数値の変化を放送で知らせるなど、具体的な取り組みの評価ができるとよかった。 ・家庭と連携した活動ができなかった。家庭と連携することで、児童の環境への意識も更に高まると思われる。家庭版環境ISOを計画するなどしていきたい。 ・「物を大切にする取組」があまり改善できなかった。持ち物への記名が当たり前になるようにし、落とし物0を目指していきたい。また、学級での裏紙使用やごみの減量化などのリサイクル活動にも取り組んでいく必要がある。 ・教職員の環境問題への実践力を更に高めていくことも必要である。